

句会の手順（注意事項）

投句四句…選句四句

- 一、投句・・・自分の作った4句を1句ずつ短冊に記入。全員分の短冊を1か所に集めます。

・短冊はA4サイズのコピー用紙を横にして8つに切ったくらい大きさ。

夏草や兵共がゆめの跡

・記入の際は楷書で、原則として句読点を入れない。
また、作者名は記入しない。

- 二、清記・・・1ヶ所に集められた短冊を、トランプを切るようによく混ぜて、各人4句ずつ配分。

・参加者全員が1人4句ずつ清記用紙に記入します。清記用紙を全員に回覧して選句します。

・清記用紙の大きさはB5サイズで5句分の枠があります。

番号（8）清記用紙

氏名【○○○○】

①	夏草や兵共がゆめの跡	②
---	------------	---

「」という書き方は × という例

夏草や、兵共が 夢の跡

夏草や兵共がゆめの跡

・「番号」は選者の座った席から時計回りに1、2、3と順に数え、自分の座った席の番号を記入する。

・「氏名」欄には清記をした人の氏名を記入し、短冊から書き写す際の責任の所在を明らかにする。

・清記用紙には短冊に書かれた句をそのまま1字も変えずに間違えないように記入する。

* 1字分空ける、句読点を打つ、ひらがらを漢字に直すなど勝手な改変は不可。また、「共」を「供」と記入するなど、うっかりミスのないよう注意する。「てにをは」が1字違つと句の意味が変わってしまうこともあるので、清記後必ず見直す。

* 例に挙げた行書体くらいは誰でも読めるが、達筆の草書体は多くの人は判読できないので、必ず楷書で記入する。

三、**選句**・・・自分が良いと思った句を4句選びます。予備段階として、自分が良いと思った句、気になる句をすべて、選句用紙またはノートに書き写します。

四、**披講**・・・「○○○○選」とし選句した4句を発表します。

参加者全員が順番に行います。

・披講で選ばれた句には、清記用紙の①の枠内に選んだ人の名前を記入します。
(3人が選んだら3人の名前を記入)

・その後、選の入った句について(例えば「夏草や・・・」)、選んだ人からなぜその句を選んだか・・・など感想を述べ合います。

・最後に、「この句の作者は？」と尋ねられた時に、作者は「芭蕉！」と大きな声で名乗ります。(ここで初めて誰の句かわかるわけです) 作者名は清記用紙の②の枠に記入します。

三、四、から「名乗り」までの一連の手順を「**互選**」と言います。

